



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jim@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

名古屋大学大学院理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻教員公募

1. 教授 1 名
2. (1) 素粒子宇宙物理学専攻 理論天体物理学研究室 (At 研)
(2) 名古屋市
3. 理論天体物理学
4. 観測的宇宙論に主軸をおく理論天体物理学の研究。
宇宙観測グループ、素粒子論グループ等とも積極的に交流する方が望ましい。
5. 2005 年 4 月 1 日以降できるだけ早い時期
6. なし
7. ○履歴書、研究歴、研究業績リスト各 1 通
○主要論文別刷 5 編以内、各 1 部
○研究計画書（研究教育上の抱負を含む）1 通
○意見を述べられる方 2 名の氏名
8. 2004 年 8 月 6 日（金）
9. (1) 名古屋大学大学院理学研究科物理学教室主任 鈴木順三
(2) 名古屋大学大学院理学研究科天体物理学研究室 福井康雄
Tel: 052-789-2839
10. (1) 封筒に「理論天体物理学研究室教授応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付のこと。
(2) 応募書類は、特に申し出がない限り返却しない。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

国立天文台教員公募ハワイ観測所助手

1. 2003 年 5 月（96 巻 5 号）
2. 早野 裕（国立天文台 科学研究员：乙）
3. 2003 年 11 月 1 日付採用

日本大学文理学部物理学科教員公募

1. 2003 年 10 月（第 96 巻 10 号）
2. 千葉 剛（京都大学理学部）
3. 2004 年 4 月 1 日着任（助教授）

国立天文台教員公募 (天文学データ解析計算センター助手)

1. 2003 年 11 月（第 96 巻 11 号）
2. 白崎裕治（国立天文台研究员）
3. 2004 年 3 月 1 日

理化学研究所平成 16 年度独立主幹研究员

1. 2003 年 12 月（第 96 巻 12 号）
2. 滝沢慶之（独立行政法人理化学研究所イメージ情報ユニット）
3. 2004 年 4 月 1 日

東北大学大学院理学研究科天文学専攻教員

1. 2003 年 12 月（第 96 巻 12 号）
2. 高田昌広（Pennsylvania 大学研究员）
3. 2004 年 4 月 1 日

京都大学理学部宇宙物理学教室教授

1. 2003 年 7 月（第 96 巻 7 号）
2. 長田哲也（名古屋大学理学部助教授）
3. 2004 年 4 月 1 日

研究助成

研究助成日産科学振興財団「理科・環境教育助成」を大幅に拡充し募集を開始

日産科学振興財団（理事長：カルロス・ゴーン）は今年度より助成内容を「教育」と「環境」にフォーカスし、その一環として「理科・環境教育助成」を大幅に拡充し募集することとなりました。ここでは「理科・環境教育助成」プログラムのみ記載しますが、学術研究・教育助成の全体内容および申請方法についてはホームページをご参照下さい。

■理科・環境教育助成

将来を担う世代の科学と環境問題に関する興味と関心を高め、理解を促進することを目的として「理科・環境教育」に関する新しい試みに対する助成を行います。

応募書類は財団ホームページ（文末参照）から記入可能な申請書式をダウンロードしてご利用下さい。

また詳細は、ホームページを参照するか事務局までお問い合わせ下さい。

■応募要件と審査

- (1) 小・中・高等学校の教員、大学・研究機関等の研究者、企業・NPO・博物館関係者等が実施する主として高校生以下の生徒に科学・技術・環境問題・モノづくり・自動車等に興味を持ってもらうことを目的とした下記に例示するような活動を対象とします。

①IT 技術を活用した教育方法の開発と実施

②気象、自動車など身近な素材を活用した教材および教育方法の開発と実施

③博物館、動植物館、水族館等の公共施設と連携した教育方法の開発と実施

④科学研究者、技術者が教える教育方法の開発

⑤イベントの開発・考案と実施

⑥その他上記例示以外の新しい試みの考案と実施

- (2) 活動には上記目的に適う何らかの実践活動（例えば出張授業等）を最低限 1 回は含めること。

- (3) 助成期間は原則として平成 16 年 11 月～平成 17 年 10 月までとし、この間に最低 1 回は研究授業等の実践活動を行うこと。

ただし今回応募・受領された助成者の中から特に意義深い活動と認められる若干数に限り再応募、再審査により、活動の普及促進のための期間の延長と助成金の追加を認めます。

- (4) 助成金額：1 件あたり 40 万円程度

- (5) 採択予定：60 件程度

- (6) 応募方法と締切：6 月 1 日より受付開始。7 月 30 日締切

電子メール応募と郵送のセット応募（FAX 応募は不可）

財団ホームページに従って応募下さい。

■財団法人日産科学振興財団

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-9

Tel: 03-3543-5597 Fax: 03-3543-5598

E-mail: nsf@nissan-zaidan.or.jp

URL: <http://www.nissan-zaidan.or.jp>

※万一ホームページが開けない場合は、Yahoo または Google などで日産科学振興財団と検索して開いて下さい。

第 18 回日本 IBM 科学賞

日本天文学会に標記の案内がきております。その概要をお知らせします。詳しくは下記日本 IBM ホームページを参照して下さい。

名称：日本 IBM 科学賞

目的：わが国における学術研究の振興と若手研究者の育成

候補者資格：

- 1) 国内の大学あるいは公的研究機関に所属し、その研究活動の分野が、次の領域に該当する基礎研究者（国籍は問わない）

(1) 物理

(2) 化学

(3) コンピューターサイエンス（バイオインフォマティクスを含む）

(4) エレクトロニクス（バイオエレクトロニクスを含む）

- 2) 2004 年 8 月 16 日現在満 45 歳以下であること

受賞件数：5 件（原則として 1 件 1 名とします）

推薦方法：国内の大学あるいは公的研究機関等に所属されている方の推薦

締切：2004 年 8 月 16 日（月）の消印まで有効。

選考：審査委員会により決定する

賞金：300 万円（1 件）副賞はメダルほか

発表：推薦者を通じて通知（10 月下旬予定）

送付先：〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

日本アイ・ビー・エム株式会社

「日本 IBM 科学賞」事務局（HQ-DJO）

連絡先：【事務局】Tel: 03-5563-4835

Fax: 03-5563-4878 E-mail: science@jp.ibm.com

※候補者の推薦は以下の Web でも受付しております。

日本 IBM ホームページ「科学の扉」

<http://www.ibm.com/jp/company/society/science/>

研究会・集会案内

干渉計サマースクール 2004 開催のご案内

自然科学研究機構国立天文台スペース VLBI 推進室では、「干渉計サマースクール 2004」と題して、電波干渉計や VLBI の観測原理の講義やデータ処理実習の学習コースを実施します。これから干渉計で観測をしたいという方の参加を期待します。

日 時：2004 年 9 月 7 日（火）～9 日（木）

場 所：国立天文台三鷹（東京都三鷹市大沢 2-21-1）

内 容：電波干渉計の原理と観測方法についての講義と、データ解析の要点演習

- 干渉計の理解に必要な数学的基礎
- 干渉計観測の意義と得られた成果
- 電波干渉計の原理
- 電波干渉計を構成する要素
- 観測データの較正と解析
- 干渉計データ解析の要点

主 催：自然科学研究機構国立天文台スペース VLBI 推進室

参加費：参加費は無料ですが、宿泊施設をご利用の際には食費・宿泊費の実費を負担していただきます。

対 象：これから電波干渉計を使った観測を始めようという研究者・大学院生。

参加の申し込み：ウェブページ <http://vsop.mtk.nao.ac.jp/SS2004/> からオンライン上で申し込むか、下記問合せ先に電子メールか FAX で申し込んでください。

申込期限：2004 年 8 月 15 日

問合せ先：国立天文台スペース VLBI 推進室

亀野誠二

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

Fax: 0422-34-3631 e-mail: ss2004@nro.nao.ac.jp

「星間物質ワークショップ 2004」のご案内

広い意味で宇宙の化学に関心をもつ研究者、院生、学生の方々が研究成果や問題意識を交流する機会として、本ワークショップを企画しました。とくに、物質レベル、原子分子レベルでの実験・理論研究の展開に焦点を合わせ、現在・将来の観測とのつながりを探りたいと思います。広い分野の方々の参加を歓迎します。

日 時：2004 年 8 月 2 日（月）午後から 8 月 4 日（水）午前まで

場 所：国立天文台野辺山観測所

長野県南佐久郡南牧村野辺山

参加申込、講演申込の締切：2004 年 7 月 14 日（申込方法の詳細は下記 URL を参照のこと）

世話人：高野秀路（国立天文台）、渡部直樹（北大）、山本 智（東大）

問合せ先：国立天文台野辺山観測所 高野秀路

Tel: 0267-98-4377

URL: <http://www.nro.nao.ac.jp/~stakano/workshop/>

第 13 回公開セミナー「天文学の最前線」のご案内

本セミナーは、市民の皆様へ天文学、宇宙物理学研究の最新成果をお伝えするとともに、天文学、宇宙物理学の面白さを直に触れて知っていただくことを目的として、名古屋大学大学院理学研究科と名古屋市科学館の共催で平成 4 年より毎年開催しております。今回の公開セミナーは、より多くの皆様にご参加いただけるように、従来のセミナーと実験実習に加え、公開講演会を開催いたします。

公開講演会は最先端を含む宇宙に関する研究のこれまでの道のりを市民の皆様により分かりやすく解説する一般的な講演です。セミナーでは、名古屋大学大学院理学研究科の宇宙研究グループにおいて現在行なわれている研究の紹介を予定しております。実験実習は、天文観測研究に関連する基礎的な実験を通して天文学研究を体験していただけます。

	講演会	セミナー	実習
日 程：	7/31	8/1	8/2
会 場：	(1)	(2)	(3)
対 象：	中学生以上	高校生以上	高校生以上
定 員：	600 名	300 名	120 名
受講料：	無料	資料代実費 1,000 円予定	
申 込：	希望参加日を記入の上、下記にお送りください。		

締 切： 7/21 7/10 7/10

※締切が違うので、ご注意ください。

※講演会は、定員に満たない場合は当日も参加受付を行います。

会場 (1) 名古屋市芸術創造センター

(2) 名古屋市科学館

(3) 名古屋大学

申込方法：ハガキまたはインターネットにて受付

葉書の場合：住所、氏名、年齢、職業、電話番号、参加希望の日付を記入の上、下記にお送りください。

インターネットの場合：公開セミナーホームページ

<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/astro/seminar/>

よりお申し込みください。

主 催：名古屋大学大学院理学研究科，名古屋市科学館

申込・お問合せ：名古屋大学大学院理学研究科 U 研
公開セミナー係（古澤）

Tel: 052-788-6194

サイエンスキャンプ 2004 参加者募集

理化学研究所や，産業技術総合研究所，農業・生物系特定産業技術研究機構，情報通信研究機構，宇宙航空研究開発機構など先進的な研究テーマに取り組む研究機関（28 会場）が，夏休み，高校生を受け入れ，先端科学にふれてもらう。研究開発現場の第一線で活躍する研究者・技術者から直接講義・実習を受ける。

参加費：8,000 円

応募締切：6 月 28 日まで

問合せ：日本科学技術振興財団振興部内サイエンス
キャンプ事務局

Tel: 03-3212-2454 Fax: 03-3212-0014

募集要項，申込用紙は WEB サイトで公開中。

<http://ppd.jsf.or.jp/camp/>

2004 年度日本物理学会科学セミナー 「アインシュタインと 21 世紀の物理学 —2005 世界物理年へ向けて—」

●聴講者募集のお知らせ

標記セミナーの聴講者を募集しています。詳細は下記物理学会へ。

主 催：日本物理学会

期 日：2004 年 8 月 5 日（木）6 日（金）

会 場：牛込笹岡区民ホール（地下鉄大江戸線「牛込
神楽坂」徒歩 1 分，東西線「神楽坂」徒歩 10 分）

定 員：300 名。先着順。定員に達し次第締切します。

聴講料：（テキスト代ならびに消費税込み）：

会員（協賛学協会会員・賛助会員所属の方も含む）/
5,000 円

高校・中学教員/5,000 円 非会員一般/7,000 円

学生（大学院生含む）/3,000 円

天文学会も協賛しております

※なお，テキストのみ御希望の方には 1 冊 1,500 円
（消費税込み），送料 240 円で頒布しております。

申込先：〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-3 栄進開
発ビル

社団法人日本物理学会科学セミナー係

Tel: 03-3434-2671

第 23 回レーザー・センシング・ シンポジウム

主 催：レーザーレーダ研究会シンポジウム実行委員
会

開催日定：2004 年 9 月 16 日（木）～17 日（金）

会 場：筑波山ホテル青木屋

茨城県つくば市筑波 753-1

Tel: 029-866-0311 Fax: 026-866-1291

特別講演：9 月 16 日

「待機放射収支研究におけるライダー観測の展望」

東京大学気候システム研究センター センター長
中島映至氏

協賛・後援：日本天文学会など

参加費・宿泊費・懇親費：一般 12,000 円，学生 2,000
円 宿泊費 9,000 円，懇親会費 3,000 円

締 切：発表は 2004 年 7 月 23 日。参加は 2004 年 8 月
16 日。原稿は 2004 年 8 月 16 日

<http://www-lidar.nies.go.jp/lss23/>

国立天文台野辺山特別公開

国立天文台野辺山では下記の要領で，特別公開を開
催します。

日 時：2004 年 8 月 21 日（土）9:30～16:00

（午後 3 時 30 分に入場を終了させていただきます。）

場 所：国立天文台野辺山

展示・見学：通常の見学コースのほか，45 メートル電
波望遠鏡・ミリ波干渉計・電波ヘリオグラフの各観
測室，観測データを処理する計算機などを見学でき
ます。宇宙・太陽からやってくる電波をとらえる観
測装置の仕組みや，最新の観測結果を展示します。
工作体験コーナーや質問コーナーなどもあります。

講演会：11:00～12:00

「チリの高地で切り拓く宇宙の千里眼—サブミリ波
観測への奮闘記」

江澤 元（国立天文台）

14:00～15:00

「ブラックホールの食生活をのぞいてみよう」

亀野誠二（国立天文台）

交通：

○鉄道 JR 小海線野辺山駅下車徒歩 30 分（駅から無
料シャトルバス運行）

○自動車 東京・名古屋方面から：中央自動車道長
坂インターから清里高原有料道路を経て約 30 分。
または，中央自動車道須玉インターから国道 141
号線を臼田・佐久方面へ約 50 分。

群馬方面から：上信越自動車道佐久インターから

国道 141 号線を臼田・清里方面へ約 80 分。

●ご注意

入場無料・雨天決行。スリッパを各自ご持参ください。天文台内では食事の提供・販売はいたしませんので、ご了承ください。天文台入口駐車場は大型バス・障害者専用となります。その他の自動車の方は、野辺山スキー場の駐車場をご利用ください（スキー場からの無料シャトルバスを運行）。特別公開当日は、会場準備の都合上 9:30~16:00 のみの開場となります。問合せ先：国立天文台野辺山

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山

Tel: 0267-98-4300 (代表)

<http://www.nro.nao.ac.jp/~openday/>

東京大学天文学教育研究センター木曾観測所 および名古屋大学太陽風観測所の特別公開について

東京大学木曾観測所および名古屋大学太陽風観測所では、下記の日程で所内を公開いたします。本年は木曾観測所発足 30 年となりますので、例年 1 日の公開を 2 日にわたって行うほか、有名講師による特別講演会や天体観望会等も行いますので是非ご来所ください。

日時：2004 年 8 月 7 日（土）、8 日（日）

見学と展示 7 日（土）13:00~19:00

8 日（日）10:00~16:00

天体観望会 7 日（土）19:00~21:30（雨天中止）

開催場所：〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

内容：当日は、普段近くで見ることのできない望遠鏡や観測装置を間近に見ることができるほか、有名講師による特別講演会、研究紹介、天文工作なども行われます。また、夜には、大型シュミット望遠鏡と小望遠鏡を用いて天体観望会を開きます。

1) 木曾観測所及び太陽風観測所の公開と説明

2) 望遠鏡のデモンストレーション

3) 教育・研究活動の紹介

4) 天文工作「分光器を作ろう」

5) 有名講師による特別講演

半田利弘氏（東京大学）

7 日（15:00~16:00）、8 日（14:00~15:00）

渡部潤一氏（国立天文台）

7 日（19:00~20:00）

6) 天体写真の展示

7) 天体観望会（雨天中止）

※なお、申し込みは不要、入場無料です。

交通機関：当観測所への交通については、JR 中央西

線木曾福島駅あるいは上松駅より車で約 30 分です。

また、木曾福島駅より無料シャトルバスを下記の時刻で運行しますのでご利用下さい。

〈無料シャトルバス運行時刻表〉

	木曾福島駅		観測所		木曾福島駅
7 日	12:30	→	13:00	14:00	→ 14:30
	14:30	→	15:00	17:00	→ 17:30
	18:30	→	19:00	21:30	→ 22:00
8 日	09:30	→	10:00	11:30	→ 12:00
	12:30	→	13:00	14:00	→ 14:30
	14:30	→	15:00	16:30	→ 17:00

備考：その他詳しくは、下記木曾観測所のホームページ、または電話等にてお問い合わせください。なお、清涼飲料の販売はありますが、食堂はありませんのでご注意ください。

問合せ先：東京大学木曾観測所

〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

Tel: 0264-52-3360 Fax: 0264-52-3361

<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp>

名古屋大学太陽地球環境研究所 〒442-8507 豊川市穂の原 3-13

Tel: 0533-89-5175 Fax: 0533-85-3882

<http://stesun5.stelab.nagoya-u.ac.jp>

鹿島宇宙通信研究センター施設 一般公開のお知らせ

独立行政法人情報通信研究機構鹿島宇宙通信研究センターでは、下記のように施設の一般公開（入場無料）を行います。詳細については、後日鹿島宇宙通信研究センターのホームページでご案内いたします。

日時：2004 年 7 月 31 日（土）10:00~16:00

場所：鹿嶋市平井 893-1

独立行政法人情報通信研究機構

鹿島宇宙通信研究センター

交通のご案内：

- 東京方面より東京駅八重洲南口 4 番乗り場発「鹿島神宮」行き高速バス乗車「鹿島宇宙通信センター前」下車 1 時間に 3~5 本運行 八重洲南口からの所要時間約 2 時間 料金片道 1,780 円（こども 890 円）

- 「鹿島神宮」行きの中には「鹿島宇宙通信センター」を通らないものがあるので、ご乗車の際にご確認ください。

- 鉄道利用

最寄駅は JR 鹿島神宮駅 駅から「高松緑地公園行き」または「銚子行き」路線バス乗車、「鹿島宇宙通信センター前」下車

●車利用

高速道路利用の場合、東関東自動車道「潮来 IC」を降りて約 20 分「住友金属」近くパラボラアンテナが目印

内 容：各研究グループの研究紹介

問合せ先：Tel: 0299-82-1211

<http://www2.nict.go.jp/ka/index-j.html>

会 務 案 内

内地留学奨学金応募者の募集について

この奨学金は主として学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員などやアマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です。学生の応募も可能です。

この奨学金を受給された場合、日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し、そこの研究者の指導を受けて研究活動を行うことになります。

いままで、多くの方がこの制度を利用して、それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました。奮って、ご応募ください。研究をしてみたいがその内容にふさわしい機関や指導者が分からないという場合は、内地留学奨学金選考委員長に相談してください。

過去の奨学金の対象となった研究テーマは本会の会員名簿の巻末に掲載されています。

募集要項

応募資格：日本天文学会員

採択数：若干名

留学期間：2005 年 1 月から 1 年間の希望する期間

希望者と受入研究機関、指導教官（受入研究者）と相談の上、夏休みなどの長期休業時に集中させたり、週に 1 回程度の研究日を設定するなどの方法が考えられます。

なお研究終了後研究報告書の提出をお願いいたします。

支給額：25 万円以下で、支給は 2005 年 1 月を予定しています。

申し込み：応募申請書に必要事項を記入し、指導教官の捺印とコメントを得た上、〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内日本天文学会理事長宛郵送してください。

応募締切：2004 年 8 月 30 日（月）必着。

審 査：内地留学選考委員会（内規第 5 条）で審査の上、決定し、10 月下旬に通知します。

応募用紙：日本天文学会事務所にあります。（学会事務所に電話をくだされば郵送します。）申請書の書き方の例もありますからご請求ください。なお、天文学会の会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問合せ先：京都府立洛東高等学校

〒607-8017 京都市山科区安朱川向町 10

内地留学奨学金選考委員長 西村昌能

Tel: 075-581-1124 Fax: 075-581-1125

E-mail: mnisimura@kcat.zaq.ne.jp

天文学会事務所 Tel: 0422-31-1359

Fax: 0422-31-5487 E-mail: jimu@asj.or.jp

編集委員 土橋一仁(編集長), 上田暁俊, 大石奈緒子, 太田耕司, 亀野誠二, 濤崎智佳, 藤田 裕, 洞口俊博, 増田 智
平成 16 年 6 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
Tel: 0422-31-1359(事務所)/0422-31-5488(月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp